

留学報告書 II (2025 年度小 5 コース留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾幼稚舎 5 年生
留学先校名	Dragon School
留学期間	2025 年 9 月から 2026 年 7 月まで

留学を振り返って

留学に行く前に期待していたこと、心配していたことはありましたか。実際に行ってどのように変わりましたか。

現地の生徒だけではなく、他国からの留学生と出会うこと、また今まで勉強をしてきた英語を実際に英語しか通じない環境で使って生活することを楽しみにしていました。すぐに友達ができるかどうか心配していましたが、みんなが優しく接してくれたので心細さは自然と解消されました。Dragon ではレベル別に行われる授業が多いので、他のクラスの友達と触れ合う機会も多く、想像していたよりたくさんの友達ができたとうれしかったです。英語で行われる授業についていけるかという語学面での不安も、分からないところは先生が丁寧に説明して下さったのですぐに慣れることができました。

クラブ活動や課外活動など、勉強以外の活動について教えてください。

クラブ活動(放課後)：多くの選択肢から、毎日選ぶことができます。週 2 回程度に抑える同級生も多かったですが、僕は日本でできないことを沢山経験したい気持ちが強かったので、3 学期間とも毎日異なるクラブ活動を登録しました。1 年間を通して参加したのはポロとフェンシングで、その他にはチェス、水泳チーム(スカウト制)、スペイン語などを楽しみました。

Activity(火・木曜日の昼間)：主に、留学生が受講を義務づけられている EAL(English as an Additional Language)に参加していました。最後の学期は学年末に行われる劇のリハーサルに向けての準備の他、Sculling では選抜メンバーに選ばれてレースに参加できたのが良い思い出です。

Quest(土曜日午前中)：Quest では 2 コマ 2 時間で 1 つの活動をすることも出来るので、射撃場に出向いてのクレー射撃なども体験することができました。

その他にはラクロス、セラミック(陶芸)などに参加しました。クッキングで作った料理を寮に持ち帰って友達と食べるのが楽しかったです。

ルームメイトについて教えてください。

今年度、僕の学年は毎日を寮で過ごす Full Boarder 11 名の他に、普段は通学生で週 1-2 回だけ寮に滞在する Flexi Boarder も 20 名程度いました。Full/Flexi 合わせて大体一部屋 5-8 名で泊まり、学期ごとに部屋替えもあるので、いろいろな友達と交流することができます。また部屋替えの際には希望を伝えることもできました。Full Boarder は僕たちのような留学生の他に、両親が海外やロンドンなど離れて暮らすイギリス人家庭の子もいました。Chinese New Year の時には香港や中国からの留学生のお母さんが伝統的なお祝いの仕方を披露下さり、異文化を学ぶ良いきっかけにもなりました。寮生とは週末も一緒に過ごすので、とても深い関係が築け、僕の留学生活にとって大きな存在です。

アドバイザーの先生との面会がありましたか？ どのような内容でしたか？

アドバイザーのような先生はいらっしゃいませんでしたが、寮の BA(Boarding Assistant)さんや英語を母国語としない生徒の為の EAL の先生、担任の先生、寮長先生などが困っていることはないか逐一確認してくださいました。

短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

【Exeat】友達のおうちに泊まらせていただいたこともあります。基本ガーディアンさんのお宅で過ごしました。同じガーディアンさんにお世話になっている他校に通う日本人留学生も一緒に過ごせること、ガーディアンさんが日本食を作ってくれて下さることがよいリフレッシュになり、毎回楽しみにしていました。

【Half Term】10 月は日本へ帰国・幼稚舎にも数日登校し、運動会にも参加できました。2 月は学校主催のスイスでの Ski Trip に参加。5 月は同期派遣留学生と共にガーディアンさんのお宅から通いでクリケットキャンプに参加しました。キャンプのない日はオクスフォード近郊で遊びに連れて行っていただきました。

【学期間の長期休暇】冬/春休み共に、日本から来た家族と一緒にヨーロッパ内を旅行して過ごしました。

勉強について

各授業の内容・進め方・宿題・テストについて、日本との比較に触れながら記入してください。

授業の進め方で特に興味深いものがあれば、具体的に教えてください。

- ・レベル別で受ける授業も多く、日本の学校と比べて所属クラスで過ごす時間が短く感じられました。具体的には Art, Music, Drama, Design などは Form(担任の先生がいるクラス)で受けますが、Science, Maths, Latin, French はそれぞれレベル別のクラスがありました。その他は Humanity Set と呼ばれ、English のレベルによって 3 段階に分けられます。
- ・日本ではない珍しい授業としてはラテン語の他に、宗教や指導者の思想について学ぶ FPE(Faith Philosophy Ethics)や、どうしたら人に優しくなれるか/人々の違いをどう受け入れるかなどを学ぶ C&HE(Character&Health Education)などがありました。
- ・ラテン語はヨーロッパで話されている多くの言語のもとになった言葉なので、語源を知って各言語の繋がりに気付いた時に面白さを感じて、今では好きな科目の 1 つになりました。
- ・History の授業は、日本のように時系列にそって進むのではなく、1 つの時代を深掘りして学ぶことが新鮮でした。
- ・Maths の授業では、クラス全員で同じ問題を解くのではなく、解き終わった人からどんどん次へ進められます。また、先に答えを提示された上で、どのように答えにいきつくかを考える授業もあっておもしろかったです。
- ・週 3 回、曜日で決まった科目の宿題が出されましたが、“寮は勉強するのではなく、友達と楽しく過ごす場所であってほしい”という先生の考えから学校で済ませてから帰る必要がありました。

今後の派遣留学生へのアドバイス

塾内選考前にどのような準備をしていましたか。

英語の学習だけではなく、“どうして留学したいか”をという気持ちをきちんと自分の言葉で伝えられるよう事前に自分の気持ちを整理できるように心がけていました。説明会では自分だけの経験としてではな

く、将来的に学校に還元して行ってほしいとお話もあったので、自分なりにどんなことができるだろう
か意識して考えるようにしていました。

事前に日本で学習しておいた方がよいことや、用意しておいた方がよいことがあればお知らせください。

やはり最初は英語の聞き取りに苦労したので、日本にいるうちから英語のテレビ番組やニュースを聞き、
耳を鳴らしておくといはいいです。特に日本ではイギリス英語よりアメリカ英語に触れる機会が多いように感
じるので、意識してイギリスの番組を選んでみるといいかもしれません。BBC のサイトで見つけられる
Newsround という毎日のニュース番組が僕のおすすめです。最初の1カ月は知識的に分かることでも専
門用語を知らないために、理解に時間がかかることがありました。Hexagon(六角形)や Pentagon(五角形)、
Hydroelectrical(水力発電)などの理科や算数に関わる専門用語を分かるようにしておく、最初の1カ月が
格段に楽になると思います。BBC Bitesize の Year 6 Science や Maths などて勉強できます。

以上

